

水と緑のふれあいの町



■弥富町

Y A T O M I

弥富町は、人口37,503人(平成15年5月1日現在)で、濃尾平野の南西部に位置し、木曽川下流に開拓された水郷地帯、北緯35度6分24秒945、東経136度43分39秒681を中心とした38.08km²の面積で、町域のほとんどが海拔ゼロメートル地帯です。

弥富町は、「金魚」の生産地としてあまりにも有名ですが、生産地としてだけでなく、流通拠点としても我国有数の市場となっており、日本にいる金魚の全品種の約25種類全てが弥富町で揃います。

平成4年に日本人初の宇宙飛行士・毛利衛さんと弥富の鯉が、また平成6年には向井千秋さんと弥富の金魚がスペースシャトルに乗り込み、宇宙酔いの謎を解く重要な実験に選ばれました。現在その兄弟宇宙金魚を人工授精により増やし、愛知万博会場に展示したり来場者に配ろうというアイデアが膨らんでいます。

「金魚」の他にも、日本唯一の「白文鳥」生産地としても知られています。明治初期に遺伝の突然変異により「白文鳥」が誕生し、これを飼育改良の結果、現在のような日本唯一の白文鳥の特産地にまで発展させました。そして今、白文鳥発祥の地として文鳥村とも呼ばれています。

木曽川、長良川、揖斐川の三大河川の河口から庄内川河口にかけての一带は、水鳥を主とした渡り鳥の中継地、渡来地であり、昔から全国でも有数の野鳥の宝庫として知られています。

このような自然環境を生かした弥富町野鳥園は、海拔0～4メートルの平坦地に池、草原の他休憩所もあり野鳥の自然観察の場として利用されています。



町内には国の重要文化財「服部家住宅」を始めとする古い歴史があります。毎年10月上旬の日曜に行われる秋祭りでは、古くから郷土芸能として獅子舞・鶴舞、神楽太鼓・山車など奉納行事が行われています。

弥富町役場ホームページアドレス <http://www.town.yatomi.aichi.jp>